

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第41号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年2月21日（日） 09時15分ごろ	
発生場所	福岡県北九州市若松区 白島国家石油備蓄基地船溜り西防波堤灯台から真方位331° 1,540m付近 (概位 北緯34° 01.1′ 東経130° 43.2′)	
事故等調査の経過	平成22年3月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等</p> <p>A 漁船 ^{こうりょう}厚漁丸、4.4トン FO3-30687（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>B モーターボート ^{かいどう}海童、3.8トン 290-56047福岡、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	<p>A なし</p> <p>B 負傷 1人（同乗者 頭部に打撲傷）</p>	
損傷	<p>A 船首部に擦過傷</p> <p>B 左舷船尾部にき裂を伴う擦過傷</p>	
事故等の経過	A船は、船長Aほか1人が乗り組み、5～6ノットの対地速力で自動操舵により南進中、B船は、船長Bほか2人が乗船し、若松区黒島西方沖において、船首を東に向けて錨泊中、平成22年2月21日09時15分ごろ、A船の船首部とB船の左舷船尾部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好</p> <p>海象：波 なし</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B なし</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、黒島西方沖を南進中、船長Aが、前路に船舶はいないものと思ひ込み、前方の適切な見張りを行わなかったことから、前路で錨泊中のB船に気付かなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、錨泊中、船長Bが、笛を鳴らしたうえ、大声を上げて両手を振り、A船に対し警告したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、黒島西方沖において、A船が南進中、B船が錨泊中、A船が適切な見張りを行わなかったため、B船に気付かずに航行し、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	